

WEB  
開催

オンデマンド方式

# 令和2年度 大阪府教育センター 研究フォーラム実施要項

テーマ

## 支える 育てる つなげる

- 1 開催方法：Web 開催（オンデマンド方式）
- 2 視聴期間：令和2年12月10日（木）～ 令和3年1月29日（金）
- 3 配信内容：7分科会ごとの研究発表、実践発表等
- 4 趣 旨  
教育研究、教育実践、研修成果の発表を行うことによって、本府の学校教育の向上に資する。

### 5 視聴方法・視聴申込み

- ・大阪府教育センター研究フォーラムのページに各分科会動画のYouTubeのリンク及び資料を掲載します。

[http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/information/forum/forum\\_overview.html](http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/information/forum/forum_overview.html)

<<大阪府内の学校園の教育関係者>>：視聴申込み不要です。

11月11日（水）に、各所属先へ視聴用のID、パスワードを送付します。

<<上記以外の方>>：大阪府教育センター研究フォーラムのページから視聴申込みをしてください。  
視聴用のID、パスワードをEメールで送付します。

申込み期間：11月11日（水）午後1時から令和3年1月28日（木）午後5時

### 6 視聴に関するユニバーサルデザインについて

- ・動画はYouTubeの字幕に対応しており、誤変換等がある場合は修正しています。
- ・研究発表、実践発表等の資料をテキストファイル化し、動画配信開始後随時、掲載します。
- ・その他の動画視聴上の配慮に関するご相談は、下記にご連絡ください。  
(大阪府内の学校園の教職員の方は管理職を通じてご相談ください。)

大阪府教育センター研究フォーラム事務局 TEL 06-6692-1882（内線321）

## 7 分科会一覧 (敬称略)

### 1. 「ええ研修やったなあ」で終わらせないために ー研修の学びを実践につなぐー

「学び続ける教職員」として自身の資質向上を図る1つの手だてとして、研修の活用があります。スキルアップ等のため、研修を受講したときに、自身の悩みがすっきり解決する良い研修に出会っても、研修の学びをその場限りの「ええ研修やったなあ」で終わらせていませんか。研修の学びを日々の実践につなげた具体的な活用方法について、実践事例を紹介します。また、講演を通して効果的な研修の活用や「学び続ける教職員」としてあり続けるために、学校の仕組みや体制づくり等について考えていきましょう。

- 実践発表 「メンタリング」の活用について  
府立岸和田高等学校
- 実践発表 研修の活用について  
摂津市教育委員会
- 講演 「研修の学びを実践につなぐ」  
岡田 耕治(大阪教育大学特任教授)

### 2. 学校組織マネジメントと人材育成

大阪府内には、さまざまな特色のある公立学校が数多くあります。子どもたちの成長を促し学び続ける教員としてやりがいを感じながら力を発揮し学校づくりに参画するには、どのようなことが必要なのでしょう。世代交代が進み、経験の少ない教員の割合が増えている中、多様な公立学校のうち、府立学校3校の学校組織マネジメントにおける人材育成の実践例をもとにして、キャリアに応じた人材育成指標「OSAKA 教職スタンダード」について、認識を深めます。

- 実践発表 「子どもの居場所を創り主体性を育む学校  
ー多様な校内プロジェクトを通しての人材育成ー」  
平野 智之(府立松原高等学校長)
- 実践発表 「Shape the Future 牧野高校の未来人材育成  
ーパラダイム転換 2020~ICT 活用による授業改善運動などを通じてー」  
日笠 賢(府立牧野高等学校長)
- 実践発表 「岸和田支援学校の組織マネジメントの取組み ー子どもの学びを支えるためにー」  
小川 英夫(府立岸和田支援学校長)
- 指導助言・講話  
向畦地 昭雄(大阪府教育庁 教育監)

### 3. 持続可能な開発目標(SDGs)と人権教育

新型コロナウイルス感染症の拡大が子どもたちの生活に大きな影響を及ぼし、人権が脅かされやすくなっている今、課題の解決のために自分たちに何ができるのかを子どもたちと考えることが非常に大切です。そこでこの分科会では、子どもたちが身近な課題から仲間の思いや人権の大切さについて理解を深めていく実践例とともに、講演を通して、SDGsの理念である「誰一人取り残さない社会の実現」に向けて、どのような人権学習に取り組むことができるか、豊富なプログラムを紹介します。

- 実践発表 主体的・協働的に取り組む人権総合学習  
貝塚市立東小学校
- 実践発表 新型コロナウイルス感染症による偏見や差別について考える取組み  
府立西成高等学校
- 講演 持続可能な開発目標(SDGs)と人権教育  
ー「開発」「防災」「平和」「感染症」を通してー  
河原 和之(立命館大学 講師)

### 4. 不登校生徒への理解と支援 ー社会的自立にむけてー

不登校生徒への理解と支援についてどのようなアプローチを重ねればよいのでしょうか。本分科会では、教育支援センターにおける支援及び子どもにつながる保護者支援について調査研究の中間報告を行うとともに、後藤智子教授より社会的自立にむけた支援についてご講演いただき、不登校生徒への支援について様々な角度からのアプローチを考えます。

- 報告 「教育支援センターにおけるICTの効果的な活用法」  
・調査研究報告 ・教育支援センター及びICTを用いた心理支援ワークの紹介  
大阪府教育センター教育相談室指導主事
- 報告 「不登校生徒への理解と支援ー子どもにつながる保護者支援ー」  
・調査研究報告 ・臨床心理士/公認心理師によるレクチャー及びインタビュー  
井上 序子(臨床心理士・精神保健福祉士)  
大阪府教育センター教育相談室臨床心理士/公認心理師、指導主事
- 講演 「不登校生徒への理解と支援ー社会的自立にむけた支援ー」  
後藤 智子(梅花女子大学教授)

## 5. 1人1台環境での、教科等の指導におけるICT活用

高等学校においても、高速・大容量のネット回線の整備、生徒1人1台の情報端末などICT環境が整えられ、生徒の学びのかたちが大きく変わろうとしています。学校のICT環境が飛躍的に整備される中、各学校はそれらをどのように運用すればよいのでしょうか。各教員はそれらを使ってどのような授業をすればよいのか、そして生徒にどのような資質・能力を身に付けさせなければならないのでしょうか。講演では、教科等の指導におけるICT活用の留意点や、教員に求められることなど、1人1台環境を迎えるために必要なことらについて理解を深めます。また端末の導入に伴う校内体制の整備や研修、授業の計画や実践について、事例を紹介します。

- 講演 1人1台環境での、ICT活用のあり方  
西端 律子（畿央大学教授）
- 実践発表 ICTの日常的な活用に向けて 一校内体制の整備、研修等—  
府立港南造形高等学校
- 実践発表 1人1台環境を授業に生かす 一高校・理科—  
大阪府教育センター附属高等学校

## 6. 資質・能力の育成をめざした授業づくり —「指導と評価の一体化」をめざして—

子どもたちの資質・能力を育むための授業や、学習指導要領（平成29年告示）の具現化に資する授業では、教員が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするための学習評価の在り方も重要です。実践発表、講演を通して資質・能力を育むための授業づくりのポイントや「指導と評価の一体化」をめざした授業づくりで大切にすべきことなどを学びます。

- 実践発表 資質・能力の育成をめざした授業づくりの取組み  
—数学的な表現を用いた活動の充実—  
高槻市立阿武野小学校
- 実践発表 資質・能力の育成をめざした授業づくりの取組み  
—文学的文章を用いた指導を通して—  
太子町立磯長小学校
- 実践発表 資質・能力の育成をめざした授業づくりの取組み  
—「筋道を立てて考える力」を育むために—  
東大阪市立藤戸小学校
- 講演 資質・能力の育成をめざした授業づくり —「指導と評価の一体化」をめざして—  
水戸部 修治（京都女子大学教授）

## 7. 障がいのある幼児児童生徒の学びを支えるICT

学校現場では、一人ひとりが端末を持ち、十分に活用できる環境の整備がすすめられようとしています。障がいのある幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたICT機器や先端技術の活用はどのように行えばよいのでしょうか。具体的な実践事例をもとにして、ICT機器等を活用した授業の在り方について考察を行います。また、講演を通して、ICT機器等をどのように活用すると効果的か、授業においてどのように位置付ければ良いのか、という観点から学びを支えるICTの活用について認識を深めます。

- 講演 「支援を必要とする子どもたちへのICTを活用した授業づくり」  
小田 浩伸（大阪大谷大学教授）
- 講演 「特別支援教育におけるICTの意義と役割」  
仲矢 史雄（大阪教育大学教授）
- 実践発表 「ICT機器を用いた授業づくりの検討～わかる・やってみたいを引き出すタブレットの可能性～」  
府立和泉支援学校
- 実践発表 「VRゴーグルを使用したSSTの実践報告」  
府立なにわ高等支援学校
- 実践発表 「重度重複障がいのある生徒における視線入力機器の活用」  
府立藤井寺支援学校